opusdei.org

年間第6週日曜日・ A年43.堅固な信仰

年間第6週日曜日・A年43. 堅固な信仰一信仰の保管 者。教会は聖霊の臨在のの に信仰を忠実に守り、権威と に信仰を表明し全ての を与える。一信の の徳を乱すあらゆることを ける。一読書のための本を 慎重に吟味する事。

2024/04/09

年間第6週日曜日·A年

43. 堅固な信仰

- 一 信仰の保管者。教会は聖霊の臨在のもとに信仰を忠実に守り、権威を持って信仰を表明し全ての人にこの宝を与える。
- 一信仰の徳を乱すあらゆることを避ける。
- 一 読書のための本を慎重に吟味する 事。
- 43.1信仰の遺産。それは各時代の人々が教会から受ける宝。教会は 聖霊の助けによってその宝を忠実に 守り権威をもって解釈する

今日のミサの福音¹で、主は、旧約を廃止するためではなく、「完成させるために来られた」と教えています。主は、旧約聖書の教訓を、より高度なものに修正し、完成し、向上させました。「イエスの教えはいつの時代でも人々にとって永遠の価値

があります。それは救いに関するあ らゆる真理と道徳との源です」²。 それは各時代の人々が教会によって 受ける宝です。教会は聖霊の指導の もとにそれを忠実に守ります。そし て、権威を持って提示します。教会 が提示する信仰を受け入れる時、私 たちは使徒たちと直接接触し、その 使徒たちをとおして第一にして唯一 の師であるイエス・キリストとコ ミュニケートし、会話します。私た ちは、いわば、彼らの学校に通い学 ぶことで、私たちと彼らを隔てる何 世紀もの隔たりを飛び越えてしまい ます³。この生きた権威に感謝し て、ある意味では「全世界は主の教 義を受け入れ、ガリラヤに変わっ た。全地はエリコやカファルナウム になる。全人類はゲネザレト湖の岸 辺に立っている | と言うことができ ます⁴。

信仰の真理を完全に保つことは、人 類の救いに欠くことのできないもの です。キリスト信仰以外に救うことうにな真理があるでしたな真理があるから教教をしたない。 たとれが主ののできるが、最もしているできたしてもいなが、それがらないでしたができるが、なるでは、はいるでは、がはいいでしょうのは、、 はいてはいいでしょう。 というないでしょう。 とうらいないでしょう。 とうらいないでしょう。 キリスト ににない はいないでしょう。 とうらいない はいない はいないでしょう。 とうらいない はいないでしょう。

聖パウロはテモテの人たちに熱心に 説きました。「あなたに委ねられて いるものを守り、俗悪な無駄話と いるも知識と呼ばれている を当にも知識と呼ばれている をが、何き とをもわたって私たちに伝えの中 をでもわることのない信仰の ない きでと表現しています。なと た、変わるように をでいます。ない にもりまで にもりまで にもりまで にもりまで にもりまで にもりまた。 じられた真理であることをはっきりと示すためです。

信仰の真理は、「時の推移によって 変わることはありません。それは歴 史の経過によって取り替えたり修正 したり付け加えられるものではあり ません。それは新しい洞察を認め、 または、現代用語の特徴にあった教 育学的、司牧的な言い換えが必要に なることもあります。また、こうし た発展の方向に従うとしても、良く 知られたレリンの聖ビンセントの伝 統的な定義、「どこでも、いつで も、すべての人に信じられたこと| から逸脱することなくされるべきで す。また彼の言葉は、信仰の遺産の 部分として教会に保ち続けられなけ ればなりません。この教えの揺るぎ ない安定こそ、ローマカトリックの 正真正銘の遺産、カトリックの完全 な使徒継承を守ることになります。 使徒信条は変わりません。時代遅れ ではありません。それは風化しませ

はっきり言わせてもらおう。そのような態度をとり続けるなら、あなたがあれほど嫌っている偏狭、しかも最も厭わしく最も有害な偏狭に陥ってしまう。即ち真理が宣言されるのを妨げてしまうのである。真理を宣言することは、時に私たちの近になるのです。

43. 2 信仰の徳を損なうものをすべて避ける

罪という暴虐性から解放されてキリスト者は、キリストの新しい掟に励まされて神である御父の現存の内に神の子として振舞います。そうなれば倫理的規範は単に認められたり許されたりする限界を示す指針ではなくなります。それは神に至る小道であり愛のしるしになります。

私たちは信仰の宝と呼ばれるものを 構成する一連の真理と教えを完全に 知るべきです。これは、神が教と とおして私たちが救われるたの これた宝ですから。こる信心 とうえになずからよる信心 とうことが、一人ひとり受ける ですることによって、また によって、また によった といることによって といることによって といることによって によったまた によった またまですることによって れます。

たとえば、大切な科学的形成を受け ることに本当に関心のある人が、も し物理学や生物学の教授が数冊の教 科書を推薦したときに、その特殊な 本を読んでもそれは役に立たず害に さえなると他の人に忠告したり言っ たりする人は誰もいません。しか し、信仰や倫理に有害な本を避ける 必要があるときには、教会が教義を 再び断言すべきであることや信仰の 真理に反する本を調べ判断し、極端 な場合には非難する権利と義務を行 使すべきであることに非常に驚く 人々がいます8。この驚きの根源 は、真理の意味を歪曲してとるとこ ろにあるかもしれません。このよう に簡単に驚く人々は、科学的領域だ けしか権威を認めないので、宗教的 な真理の領域でどれほどこのような 真理の根拠がしっかりしていても、 その真理は見解の問題に過ぎないと 考えてしまうのです。

祈りにおいて、私たちに啓示されて いるこの宝への忠実を強めることが できます。同時に、神が私たちの心 に記された自然の掟のお陰で、天国 の賜物を心から高く評価するように なれることを祈りの中で思い出しま す。結果的に、一人ひとりの心に刻 まれた自然の掟である良心のお陰 で、信仰の徳を少しでも損なう傾向 のあるものをできる限りすべて避け るようになります。たとえば生命を 守るために命じるように、できる限 りすべて避けるようにします⁹。 十 分な理由もなく有害な本を読んで、 故意に信仰の危機を招くことは、そ の時点では教会の制裁を受けなくて もやはり罪になるでしょう¹⁰。

異教徒または信仰のない作家について長い間調査してきた聖バジルは次のような忠告をしました。「ミツバチを手本にするべきです。ミツバチはすべての花にとまるわけではなく、とまった花のすべてを取ってし

読書における賢明さはキリストの教 えに忠実だということの表明ですら、 信仰は最も素晴らしい宝です信仰なられるを得ようとして信仰を目する危険を冒する危険を言れる。信仰に較べらはできません。信仰に較べらははものは何もありません。私たちは神がしために、特に世話をするように託した人 - 子どもたち、生徒、兄弟、友人 - のために、油断なく警戒していなければなりません。

43.3 読書における思慮深さ

「いかに幸いなことでしょう。まったき道を踏み、主の律法に歩む人は。いかに幸いなことでしょう。主の定めを守り、心を尽くしてそれを尋ね求める人は」¹²。今日の答唱詩編は、イエス・キリストに忠実に従う望みを起こすために述べています。

教会は直接的また間接的に宗教的真理や倫理を攻撃する本を読む危険を、信仰の純粋さにとって、特にの変と考えてきました。信仰深ずものでです。または間違えがいるといるというでであることが明らかです。ことは歴史をみても明らかです。13。

「あなたの法の要求するところを教 えてください、あなたの掟を守るよ う鍛えてください」¹⁴。答唱詩編の 言葉でイエスに話しかけます。イエ スは私たちの良心を相応しく形作 り、謙遜であるように助けてくれる でしょう。私たちの考えを堕落させ る危険のある、科学、文学、その他 の分野を勉強しなければならない時 は、よい忠告・勧めを求め、賢明な 選択をしなければなりません。(私 たちは良い忠告を求めます)。信仰 を宝物として大切にして、キリスト に忠実であれば、私たちは、自然に どんな種類の複雑さも避け、間違っ た教義である最新の考えへの浅はか な憧れを持たないようにするはずで す。それは、大学教授、教師、研究 者などの多くのキリスト者である知 識人が取っている態度です。謙遜で 賢明であり、常識があれば、私たち は蜜に混じった毒を飲み込むような ことはしないでしょう15。

私たちは、福音と教会の権威の教え に忠実であり、よく形成される必要 があります。このお陰で、私たちは それぞれ異なった文化であってもす べてのものは価値があると評価でき るのです。なぜなら、キリスト者 は、真に肯定的なことには何でも常 に心を開いていなければなりません から。同時に、私たちは、キリスト 教的人生観に反するものを取り除か なければなりません。上智の座であ る聖母に、学問、読書、思想、文化 の全分野における判断の賜物を願い ましょう。また私たちの信仰である 宝をもっと尊び愛することを教えて くださいとお願いしましょう。

¹ マタイ5・17-37

² 第二バチカン公会議 神の啓示に関 する教義憲章 7

³ 聖パウロVI世 Addres 1 March 1 9 6 7

- ⁴ P.Rodrigues, Faith and Life of Faith, p. 1 1 3 参照
- ⁵ ーテモテ6・20-21
- ⁶ 聖パウロVI世 一般謁見 1976年9月 29日、(quod ubique, quod semper, quod ab omnibus)
- $^{8}_{-}$ Code of Canon Low, Canons 8 2 2 8 3 2 参照
- J. Mausbach and G. Ermecke,Catholic Moral Theology, vol II, p. 10 8
- ____J. Mausbach and G. Ermecke, Catholic Moral Theology, vol II, p. 1 0 8 参照
- 11 聖バジル,How to read pagan literature, p. 4 3
- 12 詩編 119·1-2

¹³ ピオXI世 Deus scientiarum Dominus, 2 4 May 1 9 3 1 AAS 2 3(1 9 3 1), pp 2 4 3 - 2 4 6 参照

14 詩編 118・34

¹⁵ 聖バジル,How to read pagan literature, p. 4-3

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/TO-VI-nichi-A/ (2025/11/20)